



RoHS/REACHに対応する 自律的マネジメントシステムの構築

— 変わる規制を柔軟に取り組む仕組み作り —



対象：企業における化学物質規制対応の実務担当者、社内教育、情報伝達のご担当者

●カリキュラム編成者からのメッセージ●

企業にとって順法は最大の経営課題です。ただ、環境関連規制への順法は「リスクベース」で、かつ自社工程だけでなく商品の使用、廃棄後まで「ライフサイクル全般」について考慮することが求められます。基準は企業が自ら設定しなくてはなりません。一方、EU RoHS指令やREACH規則の要求事項は変化しています。EUを先行モデルとしているアジア諸国も規制強化をしてきており、EU同様に要求事項は改定されています。これらの変化、変更は時期や内容が異なるため、企業はその対応に追われています。今年度は、具体的な事例として、フタル酸エステル類の移行、BPAやナノ物質を取り上げて、リスクを踏まえての対応を考えてみたいと思います。

従来日本法規制は、基準が明確に示されて、その基準を満たしているかどうか、順法の判断になっていました。しかし、環境関連法規制は、自社でリスクを考えて、基準を定めて運用することを求めていますので、担当者任せでは対応できないことになります。「法規制の変化は止まらない」のですが、この変化にその都度大騒ぎをして対応するのではなく、経営環境の変化の一つとして捉えて、仕組みで柔軟に対応することが必要になってきています。多くの企業は順法確認を自社あるいはサプライヤの検査で行うことを求めています。検査での順法確認を仕組み（システム）で保証することへのシフトをこの講座で理解していただきたいと思います。

検査をしないで順法をどのように管理するかは悩ましいところで、さらに、「リスクベース」での対応ですので、企業自らの方針や理念を持って対応することが求められます。経営管理システムに具体的に環境関連規制の順法システムを組み込んで統合管理することの糸口を感じ取ることをこの講座では狙っています。統合的な順法システムは、最初の負担は大きいのですが、その後の変化への対応負担が減少します。

このような考え方で、今年度も、企業において求められる担当者の育成を支援いたします。「基礎知識を持ち」「本質を理解し」「変化を知る」とは、

担当者が自ら考えられるようになるために必要なスキルです。具体的な課題をテーマにして講義と演習を通して、リスクマネジメントに必要な判断力を養います。最終的には、法規制の変化に揺り動かされないことがないリスクベースの自律的マネジメントシステムを構築し、運用することが目的です。

導入編では、本質を理解しないまま日常業務対応に追われている担当者や法規制の仕組みを整理したい新任担当者を対象とします。副読本を充実させて、講座は基本的な考え方、本質をご説明するに止めて、喫緊の課題をテーマにして規制の本質と企業対応の理解を深めるようにします。

応用編では、顧客から問い合わせが多いEU以外のアジアなどの規制動向の解説と法規制の基本のリスクとリスクマネジメントについて、ディスカッションで考えていただきます。

実務編は、リスクベースでのマネジメントシステムの構築、既存マネジメントシステムの統合の進め方を説明します。CASを構築するうえで、必要となる法規制、情報伝達スキーム（ケムシエルパ）などをご説明します。また、自社システムを構築するうえで、他社の考え方を知りたいものです。先行企業の事例発表や事例検討などを参考に、自社の取り組みを具体化していただけるようにします。

導入編、応用編、実務編は関連していますので、連続して受講することをお勧めします。各講座ともに、質疑応答、個別相談の時間も設けておりますので、技術・経営の両面から専門家のアドバイスを受けられます。多数のご参加をお待ちしております。

一般社団法人 東京環境経営研究所 理事長
一般社団法人 産業環境管理協会 技術参与
松浦 徹也（中小企業診断士・環境計量士）

●各回の詳細 ※各回とも、終了後、個別相談会を開催いたします(事前申込要)

MTEPセミナー

STEP1 断片的知識の整理

【導入編】

テーマ 『法規制の本質と新たな課題を知る』
～フタル酸エステル類規制を例に考える企業対応～

地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター
との共同主催です



誕生

- 対象
- ・本質を理解しないまま実務対応に追われている担当者
 - ・法規制の仕組みを整理したい新任担当者
 - ・これから自社で取り組みを始めたい方など

日時 7/4(水)
13:00～17:00

定員 90名(先着順)

受講料 1,000円

MTEP (広域首都圏輸出品技術支援センター)とは、1都10県1市の公設試験研究機関が連携し、海外規格に関する無料相談や情報提供などの海外展開支援を行っている共同運営事業です。導入編は東京都MTEP(都産技研)と神奈川県MTEP(KISTEC)の共同開催です。

概要	RoHS指令、REACH規則などの主要法規制の本質を解説、新たな課題としての「リスク対応」を考えます。	
内容	海外法規制の考え方を理解することを狙い、解説はEU RoHS指令、REACH規則の基本事項に絞り、詳細事項は副読本(基礎編)で提供します。RoHS指令、REACH規則の本質を理解するために、2019年7月からの施行を目前に喫緊の課題となっているフタル酸エステル類の移行管理を具体的なテーマとして取り上げ、測定例を踏まえての企業対応を討議し、理解を深めます。	
プログラム	13:00～13:05	オープニング
	13:05～13:55 (50分)	世界のデファクト規制 EU REACH規則とRoHS指令の重要事項の解説 EUのフタル酸エステル類の規制動向
	14:00～15:00 (60分)	フタル酸エステル類の基礎知識
	15:15～16:05 (50分)	フタル酸エステル類の移行問題と分析事例
	16:05～17:00 (55分)	補足説明とディスカッション

STEP2 知識を活かす

【応用編】

テーマ 『海外法規制の把握と企業対応のポイント』



自立

- 対象
- ・過去に本講座を受講したことがある方／一定レベルの知識を有する方／実務経験者
- 講師 (一社)東京環境経営研究所 所属 シニアコンサルタント ほか

日時 10/3(水)
10:00～17:00

定員 50名(先着順)

受講料 6,000円

概要	海外法規制の最新動向を把握した上で、対応するためのリスクマネジメントの考え方を学び、統合マネジメントシステムの気付きを得るようにします。グループ演習では、日常的な運営、判断場面においてリスクベースでの対応が行えるように従来の発想、考え方を変えることを狙い、法規制の現実的な解釈や他社の価値観を理解できるようにします。	
内容	EU RoHS指令、REACH規則の動向や情報が少ないTSCA、Prop65やCLP規則の混合物登録などのアジア、アメリカ等の規制動向を解説します。化学物質規制法の基礎であるリスクの考え方、リスクマネジメントの進め方を紹介します。グループ演習では、小さな事例を多数検討し、考え方を整理していきます。	
プログラム	第1部 法規制の論点整理	
	10:00～11:50 (110分) (途中休憩含む)	(1)化学物質規制法 ・EU REACH規則、CLP規則の動向解説 ・アジア、アセアンの化学物質規制法 (C-REACH、K-REACH、台湾REACH、ほか) ・アメリカ、カナダの化学物質規制法 (TSCA、CPSIA、Prop65、有害物質規制規則、ほか)
	12:50～14:50 (120分) (途中休憩含む)	(2)成形品含有規制法 ・EU RoHS指令の動向解説 ・中国RoHS(II)管理規則の重要事項の解説/ 実施規則や順法管理の要求の紹介 ・アジアのRoHS法
	第2部 リスクマネジメントの基礎と手法	
	15:10～17:00 (110分) (途中休憩含む)	(3)リスクマネジメントの考え方
		(4)リスクマネジメントの事例検討(グループ討議) 数十例の事例集(重厚な例、何もしていない例、迷う例等)から数例を選択し、グループ討議を行ないます。 (例)ビニール電線を作業場の通箱に入れて保管、運搬をしています。通箱は作業場に数百個あり、入れる材料、部品は特定していません。顧客からフタル酸エステルの移行量の測定値の提示要求がありました。

STEP3 知識を知恵に

【実践編】



自律

日時 11/21(水)
10:00～17:30

11/22(木)
9:35～17:00

定員 20名(先着順)

受講料 39,000円

テーマ 『総合マネジメントシステムの構築の基礎』

対象 ・実務担当者
(原則として「導入編」「応用編」の受講者)

講師 (一社)東京環境経営研究所 所属 シニアコンサルタント ほか

ねらい	本コースのゴールです。企業が対応すべき規制内容、企業経営で「リスクベース」で利用できるツールを紹介し、経営環境を理解できるようにします。この基礎情報を踏まえて、化学物質管理を特別視するのではなく、日常管理の一項目にするために、他社事例やケースメソッドを通して、自社システムに統合するCAS (Compliance Assurance System) の構築の糸口を掴めるようにします。
内容	初日は法規制等の最新情報および、マネジメントシステムに必要な法規制の本質や論点、マネジメントシステムの統合で必要となるchemSHERPA、CEマーキングの技術文書の基本となるBOMと順法確証や試験分析などの関連の諸情報を整理して解説します。2日目は、先進企業の事例を聞き、自社の相対的な位置を把握できるようにします。演習では、ケーススタディを通して、企業が何をすべきかを講師と受講生が討議を重ねて一緒に考えていく過程で、化学物質マネジメントシステムの構築や各種実務に直結するノウハウを徹底的に身につけます。
プログラム	第1日 11/21(水) 10:00～17:30 関連法規制の本質解説
	10:00～10:10 (10分) オリエンテーション
	10:10～11:00 (50分) (1)主要法規制の概要① EU REACH規則、RoHS(II)指令
	11:05～11:55 (50分) (2)主要法規制の概要② アジア(中国、韓国、日本、台湾)、アセアンの規制法
	12:45～13:45 (60分) (3)CAS (Compliance Assurance System) の基本要素とISO9001の要求事項の関係
	13:50～14:50 (60分) (4)chemSHERPAの概要～サプライチェーンマネジメントの基本～
	15:00～15:40 (40分) (5)BOM (Bill of materials) の作成方法とエビデンスの決定方法 リスクベースの考え方(応用編のまとめ)
	15:45～16:25 (40分) (6)フタル酸エステル類、ナノ物質、BPAなどの新規規制物質の解説
	16:30～17:00 (30分) (7)製品含有化学物質管理のための分析試験の基礎知識
	17:00～17:30 (30分) (8)施設見学・分析機器により測定デモ
	第2日 11/22(木) 9:35～17:00 先行事例紹介とグループ演習
	9:35～9:45 (10分) (1)昨日の振り返りと本日の予定確認
	9:45～12:00 (135分) (2)先進企業の事例紹介 川上、川中、川下企業3～4社からの取組事例紹介/全体討議
	12:50～14:00 (70分) (3)ロールプレイ(企業対応事例)
14:05～16:30 (145分) (4)グループ演習 事例検討1(事例検討の進め方の説明)/事例検討2(答えのない事例)	
16:30～16:50 (20分) (5)グループ発表	
16:50～17:00 (10分) (6)総括とクロージング	

受講者の声

- ・ロールプレイがあったことで、社内に戻っても使えるものになった(精密機器メーカー)
- ・企業の事例紹介は聞き応えがあった(精密加工)
- ・演習では、グループメンバーの意見が参考になった(機械メーカー)
- ・応用編の復習内容も含んで学べ、理解する上で効果があった(機械メーカー)

平成29年度「RoHS/REACHに対応する自律的マネジメントシステムの構築(実践編)」受講アンケートより





●受講料

日程	一般	KISTECパートナー団体会員 神奈川県内中小企業	左記以外の神奈川県内企業 神奈川県内在住の個人の方
導入編 2018年7月4日	1,000円	同左	同左
応用編 2018年10月3日	6,000円	同左	同左
実践編 2018年11月21,22日	39,000円	31,200円	35,100円
全コース	42,000円	33,600円	37,800円

●お支払方法・・・導入編のみ当日現金でお支払いください。その他は銀行振込になります。

●神奈川県内中小企業とは・・・本社または事業所が神奈川県内にあり、資本金が3億円以下または企業全体の従業員数が300名以下の企業

●全コース料金のおすすめポイント●

*1つずつお申し込みいただくより、4,000円お得です。

*社内の方でしたら、各回、受講者が変わってもOK。(例:導入編は新任の方、応用編は中堅の方など。)

*応用編・実務編のみでご受講でも、全コース料金の方がお得です。欠席された回の資料を差し上げます。

●申込要項

*受講申込書にご記入の上、郵送又はFAXにてお送りください。KISTECホームページからもお申し込み頂けます。

*申込締切後、受講決定者には受講票・受講料請求書等の必要書類をお送りします。

*募集人員を大幅に超えた応募があった場合には選考させていただくことがあります。

*申込締切り後でも、定員に余裕がある場合は申込を受付けられる場合がありますのでお問合せください。

*FAXでお申し込みの場合は、お手数ですが、着信確認のお電話をお願いいたします。

*やむを得ない事情により、日程・内容の変更や中止をする場合があります。

●お申込み・お問い合わせ

地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所 (KISTEC) 教育研修グループ

溝の口支所 〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP東棟1F

Tel. (044)819-2033 Fax. (044)819-2097

e-mail: ed@newkast.or.jp URL https://www.kanagawa-iri.jp

『RoHS/REACHに対応する自律的マネジメントシステムの構築』受講申込書

FAX送付先 044-819-2097

*の項目は該当するものに○を付けてください。

ふりがな 氏名	いずれかに○をつけてください		
ふりがな 企業名	ア. 全日程受講		
所属・ 役職名	イ. 選択受講 希望する回に○をつけてください		
	1. 導入編	2. 応用編	3. 実践編
所在地	〒 - 都道府県		
TEL	(内) FAX	E-mail	@
以前にいずれかの講座を受講したことが*	ある・ない	今後、KISTECからの情報をお送りしてよろしいですか？	
		●メールマガジン* 要 不要 ●教育講座DM* 要 不要	
資本金*	ア 3億円以下 イ 3億円超～10億円未満 ウ 10億円以上 エ 該当なし	従業員数*	ア 300人以下 イ 301人～1000人未満 ウ 1000人以上
情報入手先*	ダイレクトメール・KISTECホームページ・メールマガジン・社内回覧・イベント会場での案内・講師からの紹介 受講生からの紹介・学会誌・学会のサイト()・その他()		
●講義で取り上げて欲しい質問や個別相談のご希望がございましたら、内容をご記入ください。(受講申込後にも承ります。)			